

人口と世帯

人口… 266,281人
男 … 130,064人
女 … 136,217人
世帯数… 81,891
(55年11月末日現在)

まえばし

1月1日

昭和56年(1981年)

第707号 発行・前橋市役所 前橋市大手町二丁目11-1・電話24局1111/編集・総務部広聴文書課/毎月1日・15日/昭和35年7月14日第3種郵便物認可(1部18円)



『まえばし』—福田紹太郎・画—

○ として保存してください いつかまた お役にたちます ○

さらに豊かなる
日々のために



前橋市長

藤井 精一

新年おめでとうございます。

この一年が、皆様と前橋市にとりまして良い年となり、心からお祈り申し上げます。また、昨年中、前橋のために皆様がお寄せくださいました、温かいご協力に對しまして、深い敬意を表するとともに厚く感謝申し上げます。

おかげをもちまして、私たちが多くの先輩市民から受け継ぎ、私たちもまた一生懸命に育て合っていました。大切なふるさと前橋も、ほんとうに住みよいまちになりつつあると、市内外のかたがたから注目して頂戴できるようになりました。こうした評価を皆様とともに分かち合いたいと思います。

市行政といたしましても、これまで永い間にわたって培ってまいりました土地の基盤整備という貴重な資産をもとしまして、市民生活のよりいっそうの質の向上を目指して、力を注いでまいりたいと考えております。つまり、さらに豊かなる日々のための市民福祉や居住環境の充実、および産業、教育、芸術文化などの振興であり、とりわけ、お年寄りや子供たち、身障者のかたがたに對して、温かい理解を交わし合えるような社会づくりに努力を重ねてまいります。施設面でも、今年には市民体育館や市庁舎が完成いたしますし、市民文化会館や総合運動公園の利用も予定しております。また、皆様から大いに利用されております中央公民館も、新しい構想のもとに充実を図ってゆきたいと考えております。

幸いなことに、市財政は長期財政計画により運営されており、必ずしも楽観の許されない経済情勢下であるとはいえ、努力とくふうをもって十分に克服し得るしつかりした見通しのもとにあります。

さて、前橋を主会場として開催されます「あかぎ国体」まで、早いものでもう千日足らずとなりました。発足以来、皆様の熱心なご協力によって進められてきた、すばらしい前橋運動も、各部門それぞれに着実な成果をあげて頂いております。私をはじめとする行政担当者一同も、市議会ともどもさらに努力を重ねて、皆様のご期待におこたえする決意であります。

今年も、私たちのまち前橋のために、いっそうのご理解とご協力をお願い申し上げます。

昭和54年度 決算総括表 (1万円未満切捨)

会計別	決算額		
	歳入	歳出	差引残額
一般会計	474億9577万円	466億9557万円	8億0019万円
特別会計			
国民健康保険	64億1617万円	63億7342万円	4275万円
食肉処理場	5850万円	4834万円	1015万円
中央児童遊園	7646万円	7370万円	275万円
競輪	242億4610万円	234億4129万円	8億0481万円
児童養育費	909万円	880万円	29万円
嶺公園	4億1080万円	4億0924万円	155万円
用品調達	16億4982万円	16億4982万円	0万円
合計	803億6275万円	787億0022万円	16億6252万円

昭和54年度 一般会計歳入歳出決算

科目	歳入額	科目	歳出額
市税	164億7052万円	議会費	3億2047万円
地方譲与税	5億0005万円	総務費	77億2914万円
娯楽施設利用税	104万円	民生費	77億1635万円
自動車取得税	4億0980万円	衛生費	17億7820万円
地方交付税	35億4038万円	労働費	6億0909万円
客運安全対策費	6153万円	農産物産費	20億1694万円
貸付金	4億9675万円	商工費	22億6682万円
費用	8億2856万円	土木費	116億0668万円
国庫支出金	66億0767万円	消防費	11億3582万円
県支出金	32億5732万円	教育費	85億0924万円
財産収入	11億8830万円	公債費	15億8694万円
寄附金	3712万円	諸支出金	14億1983万円
繰入金	22億0368万円	予備費	0万円
繰越金	2億8986万円		
諸収入	67億4803万円		
市債	48億5510万円		
歳入合計	474億9577万円	歳出合計	466億9557万円

市長の決算説明 要旨

一 大規模事業が軌道に
 昭和五十四年度は、新庁舎建設事業、両毛線高架事業、市民文化

会館建設事業、市民体育館建設事業として、前橋総合運動公園建設が軌道に乗る年となりました。

この結果、一般会計の当初予算は四百九十九億六千四百八十八万二千円、対前年比二〇・三〇の伸びでしたが、最終予算額は四百七十六億四千九百五十六万四千円となりました。

これらの事業は、いずれも市民にとっては大きなメリットのある施設です。しかしこれらの大規模事業が既定の各事業を圧迫しないよう十分配慮し、同時に経費の全般について効率的な運用に心がけたいです。

また、新総合計画については、五十四年度が実質的な初年度であり、六十二年までの基本構想、基本計画を策定し各年度の指針とするともに、五十四年度から五十六年度まで、三年間の第一次実施計画を策定しました。

一歳入 20%の伸び

歳入決算額は、四百七十四億九千五百七十七万四千七百九十三円で、対前年比は二〇・一〇の伸びです。

主な款別で見ると、市税は一六・三〇の伸びで、前年度の一〇・八〇の伸びからみるとかなり回復したといえます。

種目別には、法人市民税が、輸出、民間設備投資、個人の消費の好調さに支えられて、銀行を除く各法人が大幅に増益となった結果、二六・九〇と伸びたことがまず挙げられます。

いっぽう、個人市民税においては市税総額の伸びを若干下回る一五・二〇の伸びにとどまりました。地方交付税は、普通交付税が制度に特別な改定がなかったこと、基準財政需要額の伸びに対し基準財政収入額の伸びが大きかったことにより、五・四〇の減、特別



校庭にはいつも元気な歓声が…… (城南小で)

54年度決算承認

積極的な行政を展開

議案44件、報告7件を可決・承認

昭和五十五年第四回定例市議会は、十二月二日から十九日まで、会期十八日間が開かれました。この議会は、別名「決算議会」と呼ばれるとおり、五十四年度決算を中心に、議案四十四件、報告七件が上程され、いずれも可決、承認されました。ここでは決算のあらましを中心にお知らせします。

12月定例市議会

社会資本の充実へ

歳出決算額は、四百六十六億九千五百五十七万八千八百円であり、対前年比二〇・二〇の伸びです。

性質別で見ると、まず人件費は、構成比一八・二〇で前年の二〇・四〇をかなり下回りました。

公債費は、構成比三・四〇で前年の四・六〇を下回り、さらに、伸び率でも一〇・九〇のマイナスの伸びですが、これは、前年度に利率の高い繰上償還を繰上償還した影響によるもので、比較のうえではむしろ例外に属するものです。

投資的経費は二百六十六億五千八百八十八万一千円で構成比としては四六・四〇、前年をさらに二・六〇上回りました。これらの事業は社会資本の集積、充実につながるものであり、大いに市民のお役にたつものと確信するにたいです。

五十四年度の一般会計歳入歳出決算のうち、大規模事業が占める額、財源は次のとおりです。

▽新庁舎建設事業二十五億六千四百九十九万九千九百九十九円
 △両毛線高架事業二十二億九千五百三十五万一千円
 △市民文化会館建設事業二千七百四十万九千九百九十九円
 △市民体育館建設事業五億五千五百七十七万三千円
 △前橋総合

謹んで新年の御祝詞を申し上げます

昭和56年元旦

前橋市議会議員

- 狩野富美男 (議長)
- 布施川忠之助 (副議長)
- 土屋 史郎 (建設水道常任委員)
- 永井 敬士 (教育民生常任委員)
- 高木 政夫 (経済常任委員)
- 梅沢 富雄 (建設水道常任委員)
- 河島 富雄 (経済常任委員)
- 大谷 欣也 (建設水道常任委員)
- 中村 秋男 (教育民生常任委員)
- 山本 要 (経済常任委員)
- 田村 寛 (建設水道常任委員)
- 早川 昌枝 (経済常任委員)
- 青木 茂 (経済常任委員)
- 阿佐美昭一 (教育民生常任委員)
- 船津 孝 (建設水道常任委員)
- 村田 長司 (総務常任委員)
- 玉上文次郎 (総務常任委員)
- 富山 弘毅 (教育民生常任委員)
- 窪田 治好 (総務常任委員)
- 内田 光雄 (総務常任委員)
- 岡本 義雄 (教育民生常任委員)
- 富沢徳次郎 (総務常任委員)
- 関口三代八 (教育民生常任委員)
- 中沢 良一 (経済常任委員)
- 丸山 貞吉 (教育民生常任委員)
- 中沢 実 (教育民生常任委員)
- 尾高 英雄 (建設水道常任委員)
- 萩原 義正 (経済常任委員)
- 亀井 邦夫 (教育民生常任委員)
- 塚田 文雄 (総務常任委員)
- 岡田 豊喜 (総務常任委員)
- 鈴木 康之 (建設水道常任委員)
- 宮川 健夫 (総務常任委員)
- 奈良 政雄 (経済常任委員)
- 都木 喜禄 (総務常任委員)
- 佐藤 幸雄 (経済常任委員)
- 長張知市郎 (総務常任委員)



新生活運動の趣旨にもつき、市議会の申し合わせにより、本紙をもって年賀状にかえさせていただきます。

(2ページから続く)
 運動公園建設事業千九百五十八万
 円、合計五十四億六千六百六十三
 千円、うち国・県費十四億五千五
 百九十万円、市債十六億七千七百
 十万円、庁舎基金十二億五千万円、
 一般財源等十億七千八百六十六万三
 千円

一 高水準の健全財政

昭和五十四年度の一般会計決算
 は、実質収支において黒字決算に
 なりました。

この決算を財政分析のうえで全
 国の都市と比較してみると次のと
 おりです。

まず、経常収支比率は、本市は
 六八・三％で、前年とまったく同
 率です。

全国六百四十六都市の平均は七
 九・〇％で、前年の八〇・一％に
 比べ一・一％低下していますが、
 八〇％を超える都市が二百九十九
 もあり、行政の多様化と質の向上
 などから生ずる経常経費の増加に
 見合う一般財源収入が依然として
 乏しいという状況になっているわ
 けです。

本市は、全国平均との比率では
 ここ数年は一〇％程度低い率で
 推移してきておりま
 す。諸事業の進展
 に関連してこの率がし
 だいにアップすると
 考えられます。

次に公債比率では、
 本市は五・六％で、
 この段階では前年よ
 り〇・一％下回しま
 したが、今後大規模
 事業などの進行にと
 もなつて、六十二年
 度までは公債費比率
 は一三％または一四
 〇程度まで上昇し、
 その年度以降は横ば
 いか、または徐々に

低下する見込みです。

したがって、常に財政計画の見
 直しを行い、資金計画をきちんと
 たてて、いっそう慎重な財政運営
 を心がけなければならないといえ
 るでしょう。

一 新総合計画を真剣に

昭和五十四年度は、混とんとし
 たなかにあつても、国内経済は比
 較的好調さを維持してまいりまし
 た。しかし、最近では景気にかげ
 りがでてきています。国の公共事
 業費の圧縮、エネルギーコストの
 大幅引き上げが諸般に及ぼす影響
 さらに、冷夏の影響などから、景
 気の後退が現れてきています。

今後景気がどの方向に向かうの
 か、また、国の財政の立て直しの
 方向などが、まことに予測しがた
 い状況です。

そのなかで、本市では新総合計
 画がスタートし、今後、すばらし
 い前橋、づくりの指針に基づいて、
 計画的に事業を進めていくわけで
 すが、市民福祉の向上を図ると
 ともに、大規模事業についても計
 画どおり真剣に取り組んでいく所
 存です。市民のみなさんご協力
 をお願いいたします。

補正予算可決

12月定例市議会において次のと
 おり補正予算が可決されました。

□昭和55年度前橋市一般会計補正
 予算Ⅱ四億五千三百一十一万円を追
 加、総額五百五十一億一千六百六
 十三万円になりました。主な計上額
 は総務費三億一千三百四十七万円、
 教育費八億九千六百六十三万円で
 す。

□食肉処理場特別会計Ⅱ九百十五
 万円を追加、総額五千九百五十万
 円になりました。

□競輪事業特別会計Ⅱ二億二千
 万円を追加、総額百七十九億四千六
 百八十九万円になりました。主な計
 上額は競輪開催経費二千四十三万
 円、払戻返還金一億三千五百万円
 などです。

□水道事業会計Ⅱ一億四千六百二
 十三万円を追加、総額三十億二千
 二百五十九万円になりました。

□下水道事業会計Ⅱ六千八百九十
 一万円を追加、総額三十八億五千
 六百九十九万円になりました。

□農業共済事業会計Ⅱ二億二千七
 百一十一万円を追加、総額十一億一
 千九百五十四万円になりました。

▽昭和54年度前橋市各会計決算認定(別
 記)▽同嶺公園墓地条例の制定▽市立学
 校設置条例の改正▽55年度前橋市一般
 計補正予算▽同国民健康保険特別会計補
 正予算▽同食肉処理場同中央児童遊
 園同同競輪同同水道
 事業会計補正予算▽同下
 水道事業同同農業共済
 事業同同市の区域内の町
 及び字区域の変更(二件)▽土地の買
 入れ(運動場用地)▽工事請負契約の締
 結(元総社団地RC180公営住宅新築)
 ▽工事請負契約の締結(前橋市民文化会館新
 築工事)▽人権擁護委員候補者の推薦▽
 体育館新築工事)▽前橋市議会の議員の
 教育委員会の委員の任命

可決された 主な議案

報酬及び費用弁償等に関する条例の改正
 前橋市特別職の職員で非常勤のもの
 の報酬及び費用弁償に関する条例の改正
 前橋市監査委員の諸給与の改正
 前橋市特別職の職員の給与に関する条例の
 改正
 改正前橋市教育委員会
 委員及び教育長の諸給与
 条例の改正
 前橋市消防
 団員の定員、任免、給与、
 服務等に関する条例の改正
 前橋市一般
 職の職員の給与に関する条例の改正
 工事請負契約の締結(前橋市民文化会館新
 築工事)▽人権擁護委員候補者の推薦▽
 体育館新築工事)▽前橋市議会の議員の
 教育委員会の委員の任命

市議会議員選挙

立候補予定者等 打ち合わせ会

市選挙管理委員会では、昭和五
 十六年二月十五日(日)執行予定

の、市議会議員選挙に立候補しよ
 うとする人、および政党代表者との
 打ち合わせ説明会を、一月十六
 日(金)午前九時三十分から岩神
 町三丁目市水道庁舎研修ホールで
 開きます。希望者はご出席くださ
 い。

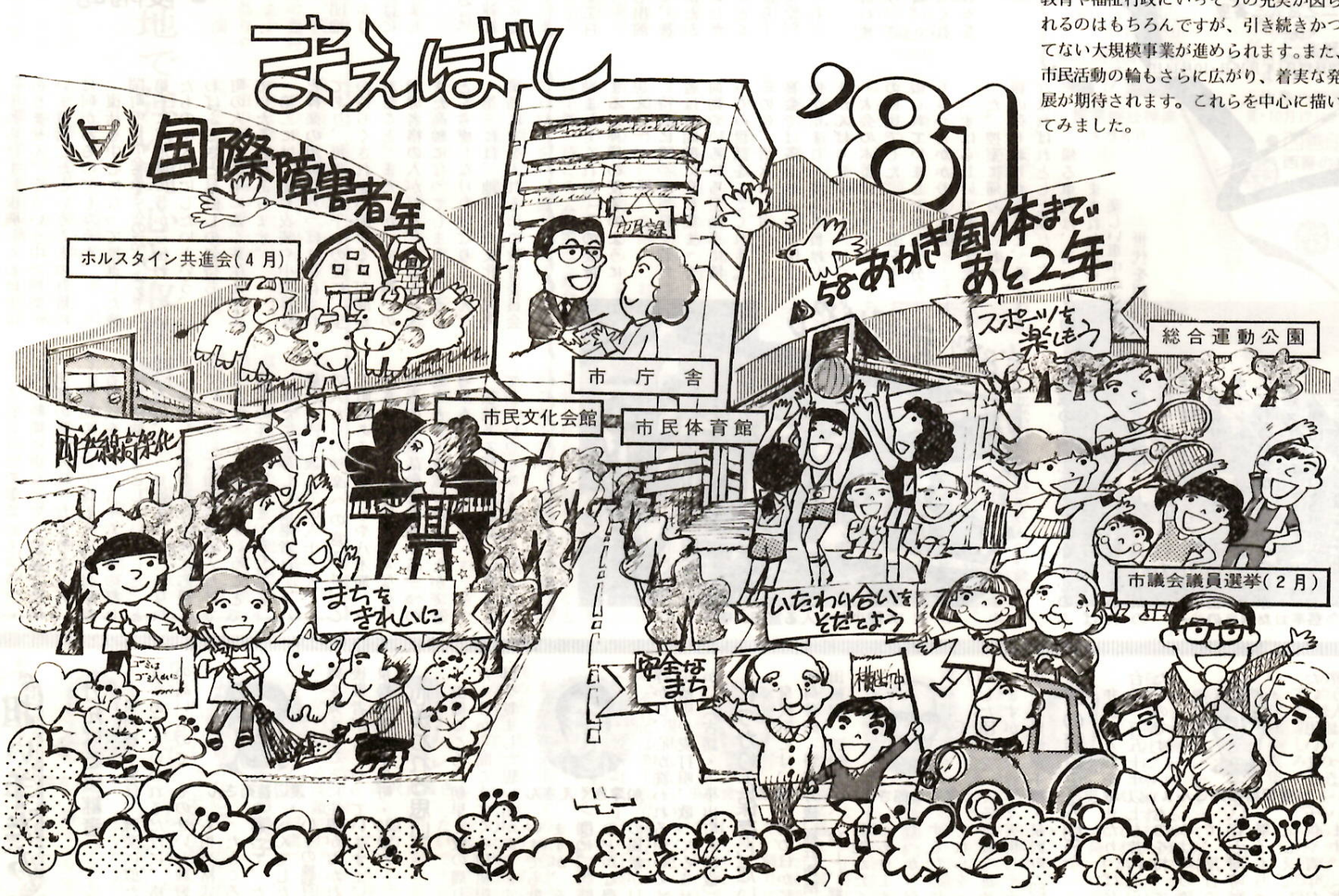
市議会議員選挙日程

選挙告示の日 2月5日(木)
 投票日 2月15日(日)
 公職選挙法による任期満了の日 2月22日(日)

さらにすばらしい前橋に

新総合計画の進行と 市民活動発展の年 — 1981年

あかぎ国体を2年後にひかえた昭和56年(1981年)——。新総合計画に基づいて、教育や福祉行政にいっそうの充実が図られるのはもちろんですが、引き続きかつてない大規模事業が進められます。また、市民活動の輪もさらに広がり、着実な発展が期待されます。これらを中心に描いてみました。

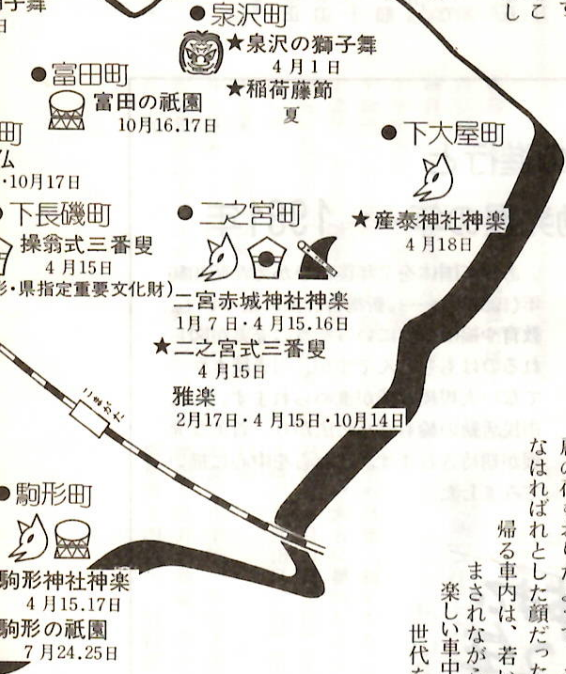


ふるさとづくり

80年代に花開く郷土芸能



野良犬の獅子舞（清野町で）



続々と後継者 町ぐるみで式三番叟

●二之宮町



世代から世代へ 熱のこもった練習（後閑町で）

二の宮、赤城神社の名が地名になった二之宮町には、貴重な民俗や文化財がらびに守り続けられています。担い手である町の人たちは、それらにどのようなかわり方をしているのでしょうか。

ここに、「まえばし郷土芸能会報」に載った二之宮町無形文化財保存会長の久保田恒太郎さん（71歳）の一文があります。

これは、去年清水市で開かれた関東ブロック民俗芸能大会に、二宮赤城神社式三番叟が、県代表として参加したときのことを書いたもので、参加についての内報から反省会までの記録をとおして、地域

の人々の対応ぶりが伝わってきます。久保田さんはまず、県から関東ブロック大会に参加してほしい、との連絡を受け、さっそく同志に伝えます。

「県の代表とすればこれほど名誉なことはない。と胸おどる思いであった」

次の連絡で、正式な日どりは九月二十二、三日だと知らされ、はたと困ります。ちょうどこの時期は晩秋蚕の上簇（蚕をまぶしに入れること）の日に当たるからで、大事な農作業をおろそかにすることはできません。みんなで相談し

復活した太々神楽

●後閑町

去年の三月二十八日、広瀬団地内にある飯玉神社で、十四年ぶりに太々神楽が奉納され、境内はにぎやかなお祭りムードにわきました。

この太々神楽が中断されたのは、昭和四十一年の台風被害で、神社の神楽殿と社務所が使用不能になった。

復活した太々神楽は、後閑町自治会長さんの話によると、第一に、地域に昔から伝わっていたものを大切にしたいという、いわばふるさと見直しの気持ちで、町の人たちの中に強く芽生えてきていたことがあります。

第二には、面や衣装や小道具など神楽の用具がらびに保存されており、毎年の虫干しの度に、宝の持ちぐされを心配する声がかかること。また、かつての舞の指導者格の人がだんだん数少なく、また高齢になってしまおうということも考慮しなければなりません。

第三には、地域伝統文化の発掘奨励に力を入れる市の教育委員会

のアドバースがあったこと。これら三つの要素がちょうど一つの時期に重なって、急速な復活気運の高まりにつながりました。当初の予定では五十五年は後継者育成を行い、五十六年春の祭りに初奉納するとしていました。ところが、どうせ始まったことなら、自家の産泰神社の人に応援していただいて指導者格の人だけでもやってみたら、ということになりました。

復活の年が一年早まったわけです。新たに応募した後継者は二十八歳から四十歳までの人十一人。この人たちの神楽への意欲は、この町にある民謡踊りや八木節、マさんパレード、野球チームなどの動きとして位置づけることができるとも思われます。

伝統ある郷土芸能が、いまこうして新しい息を吹き返しています。

た結果、蚕の掃き立ての日を二日早めることで解決しました。「けれども、一人欠いても出演できない状態だった。そこで、後継者、舞い子、それに希望のかたがた三十人ばかりに集まっていただき、いろいろ相談申し上げたところ、一せいに「やろう」と立ち上がり、若い者同志で役割まで決め、その熱意には驚いた。やはり若さだと痛感した」

その後、若い人の都合に合わせて延べ四日間のけいこをつけ、さらには出演者だけで三日間練習。「練習を希望者は見に来てくれと話すとおおせいで、我々を励ましてくれた。その姿はまるで神様の使者のようだった」

待ちに待った当日。若い者は時間前に全員集まって荷物やいろいろ自動車を積みこみ世話をしてくれました。その夜、清水市の宿舎での宴会では各県代表のお国自慢が始まり、群馬も負けじとがんばります。

大会の本番はプログラムの最後でした。二十五分と限られていたが三十分ちょっとかかりました。「すばらしいできればえだ。控室に帰り、これで肩の荷もおりたようで、みなはればれたら顔だっただけです。若者に励まされながら……」

楽しい車中の交歓。世代を超えた

た結果、蚕の掃き立ての日を二日早めることで解決しました。「けれども、一人欠いても出演できない状態だった。そこで、後継者、舞い子、それに希望のかたがた三十人ばかりに集まっていただき、いろいろ相談申し上げたところ、一せいに「やろう」と立ち上がり、若い者同志で役割まで決め、その熱意には驚いた。やはり若さだと痛感した」

その後、若い人の都合に合わせて延べ四日間のけいこをつけ、さらには出演者だけで三日間練習。「練習を希望者は見に来てくれと話すとおおせいで、我々を励ましてくれた。その姿はまるで神様の使者のようだった」

待ちに待った当日。若い者は時間前に全員集まって荷物やいろいろ自動車を積みこみ世話をしてくれました。その夜、清水市の宿舎での宴会では各県代表のお国自慢が始まり、群馬も負けじとがんばります。

大会の本番はプログラムの最後でした。二十五分と限られていたが三十分ちょっとかかりました。「すばらしいできればえだ。控室に帰り、これで肩の荷もおりたようで、みなはればれたら顔だっただけです。若者に励まされながら……」

楽しい車中の交歓。世代を超えた



大鼓小鼓も入る富田の囃子

地域の同志のあたたかい心のふれ合い、安らぎの気持ちがいっぱいあります。それから三日後に開かれた反省会では、大会で見た各県の芸能をいろいろ話し合います。「舞は人に見てもらおうもの、一つの見せ場をつくるのが一番のポイントだ、などと討議する若い人たちの熱気が、鎮守の森に赤々と燃えていた」

久保田さんの文章から、郷土芸能を生活の心の糧として楽しみ、また郷土の誇りとして守ってきたこと、そしてそれが、新たなふるさともてらされて、次代に引き継がれてゆく姿をうかがうことができると思われまふ。

がんばる後継者 担い手たち

上泉の獅子舞は、雅楽に似た動きがあるといわれるだけに、格調の高いもので、そのせいか練習にも相当格式があったところがあって、たいへんでした。いまの練習は、舞を覚えることに主眼がおかれ、後継者がよくやっていますよ。（上泉獅子舞・上泉町・45歳）

田植のころ、朝早く家の周りのたんぼから聞こえてくる田植唄を目を覚ました思い出があります。いまでも歌いますが、その度に、当時のどかな農村の風景が目に浮かび、心が洗われる思いです。田植唄や麦打唄、歌ってみませんか。（古語・下小出町・69歳）

泉沢町には、獅子舞のほかに、稲荷藤節、野郎万歳、権兵衛踊り、田植唄、芝居など、珍しい郷土芸能がたくさんあります。それがたくさしくかり保存するために、それらを一冊にした団体をつくる準備を進めています。今春早々実現しようです。（泉沢獅子舞・泉沢町・63歳）

弁慶の人形を載せたりつばな屋台は、百五十年以上も昔に造られたものです。いいものを持っているのは町の誇りです。屋台の保存と同時に獅子もちゃんと伝えていきたいと思ひます。子供や青年など習う人はいっぱいいます。（弁慶獅子・平和町二丁目・56歳）

楽しいお正月行事 鳥追いは米がたくさんとれるように、野鳥を追い出すところから、

心豊か

新しい時代に対応

「お祭りは四月の第一日曜」

●総社町植野

世の中の変化は、当然のことながら、地域の郷土芸能になんらかの変化を迫ることになります。

総社町植野の太々神楽の奉納は昔から四月一日と決まっています。ところが、神楽を演ずるのに、絶対に欠かせない笛吹き二人、太鼓の一人が、いずれも勤めをもつ人であることから、平日に行われる祭りに参加するのが、だんだん困難になってきました。

そこで出てきたのが、いっそのことお祭りを日曜にしたら、という意見です。しかし、長い信仰上の伝統を変えることには、多くの元老格の人たちが難色を示したのもろんです。

- …神楽
- …祇園囃子
- …獅子舞
- …式三番叟
- …百万遍念仏
- …雅楽
- …鳥追い
- …かつぎ地藏

前橋市内の伝統的郷土芸能

★印は市指定重要無形民俗文化財



女の子も獅子舞

●江田町

江田町の獅子舞は、昭和四十年代に、後継者が得られずに、やむをえず中断しなければならぬ時期がありました。

たまたま、ベテラン指導者である四人のお年寄りがそろって健在であるのを機に、獅子舞を復活させようとの気運が動き出したところへ、五十三年になってタイミングよく、市の地域芸術講習会の働きかけがあり、復活に踏み切りました。



子供会員が演じる総社神社祭太鼓

信仰に息づく獅子舞

●西善町西善

西善町にある西善の獅子舞は、二頭の雄獅子と一頭の雌獅子からなる一人立ちの舞、演じられるのは、毎年夏の土用の三日目と決まっています。

西善の獅子舞は、町の一番しもの家、この東端の家から始めて、だんだんかみ(西)の方へ向かいます。獅子は家々の座敷へ上がって「道切り」の舞を舞い、お金や米などのお供え物をもらいます。

元老の岡田直三さん(81歳)は、その理由を、ご利益—どんな雨降り続き、日照り続きの年でも獅子が出る—とちどころに好ましくなる—につなげる信仰のかかわりが大きいこと、やられる舞が、比較的覚えやすい「道切り」の舞一つに限られていたからだろう、と言います。



糸ひき唄は仕事歌の一つ

各地で強い関心と取り組み

本市の伝統的郷土芸能は、図でみるとおり、主として周辺の農村地帯に多く受け継がれています。

このページでは、いくつかの具体的な動きにスポットを当てて、本市の郷土芸能の姿をみてきました。そこでは、よりわかることは、

市教育委員会でも、郷土芸能大会の開催をはじめ、その他の奨励事業の実施、そして九件を重要無形文化財として指定するなど、郷土芸能の発掘や保存に力を注いでいます。

昔から続いている行事です。『トリー追いだ鳥追いだ』って歌いながらたんぼ道を歩いたり、まゆだま飾りの枝をもらったり、とっても楽しみです。(山王の鳥追い・総社小六年生)

舞い子の主力は四十代 慶応年間が始まって以来、一年も休まず続いている神楽です。もちろん神社に奉納するためのものですが、雨降って見物の人が一人もいなくても、午前中から夕方まで二十座ほど舞うんです。舞い子は四十歳代が主力です。(雷神神社神楽・上新田町・65歳)

古き時代の盆踊り 「石投げ踊り」を県民会館で踊ったことがあります。大正時代に八木節がはやる前に盛んに踊られていた盆踊りで、踊りに石を投げるような形が入るのでこういいます。(古謡・日吉町二丁目・71歳)

屋台小屋(つむぎ)の努力 私たちの祇園囃子の屋台は、時代の古い彫り物のあるりっぱなものなんです。それだけに大切に後継者がいないので、世に引き継ぎたいですね。町の有志の協力をお願いして、それにふさわしい屋台小屋を建てて、これが当面の課題です。(上町屋台囃子・駒形町・47歳)

体で覚えるお囃子 お囃子が好きなので、去年子供たちといっしょに太鼓を習ったのですが、むずかしいですね。体で覚えなければならぬから、でも前からしたたかさせてもらいました。今年も練習して、なんとかなりますかと思っています。(住吉祭・住吉町二丁目・35歳)

お囃子が好きなので、去年子供たちといっしょに太鼓を習ったのですが、むずかしいですね。体で覚えなければならぬから、でも前からしたたかさせてもらいました。今年も練習して、なんとかなりますかと思っています。(住吉祭・住吉町二丁目・35歳)

お囃子が好きなので、去年子供たちといっしょに太鼓を習ったのですが、むずかしいですね。体で覚えなければならぬから、でも前からしたたかさせてもらいました。今年も練習して、なんとかなりますかと思っています。(住吉祭・住吉町二丁目・35歳)

1月9日

初市まつり



大にぎわいの初市まつり

〇だるま供養

午前十時三十分から本町八幡宮境内で「古だるま供養」の儀式が行われます。

〇渡御の儀

午前十一時、八幡宮境内から、渡御が出發します。消防音楽隊、御幣東、木やり、天狗、太々神楽、華龍太鼓、祭主、みこし、大獅子、お囃子が、恵比寿・本町・八展・銀座・立川町・中央の各通りを行進します。

〇露店出店

午前十時から午後十時まで、国道五十号線・本町二丁目地内を主会場として、だるま・縁起物・植木店など約二百店が出店します。

市民スポーツ祭

◆バドミントン大会

日時 2月1日(日) 午前8時15分開会
会場 県スポーツセンター
対象 市内在住・在学・在勤者

りや上のクラス D (初心者)

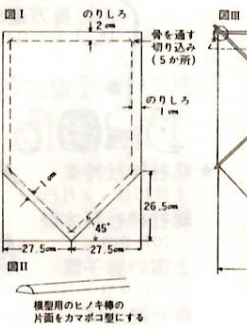
E (壮年・計算年齢七十五歳以上)
A (一般女子) V A (男子のA・Bに属する人) B (男子Cに準ずる人)

剣だこ講習会

日時 1月6日(火) 午後1時
会場 市職員研修会館(本町二丁目)
受講料 無料(材料は実費でお分けします)

剣だこの作り方

材料
ヒノキ棒 3.3x10x長さ90cm
(一本)、3.3x10x長さ55cm(一本)



①紙の上部2cm、ほかのところは1cm折り返して、折り線の交差した部分5か所に、骨を通す切り込みを作る。

◆スキー大会

日時 1月25日(日) 午前9時30分開会
会場 水上町大穴スキー場
対象 1月13日現在、市内在住

児童文化センター あんない

在勤・在学者(年齢の起算日は1月24日)
種目 八大会競技(小学生男女)

図書館だより

朗読講座(講堂)
1月22日(木) 「民話の朗読」
講師は前橋放送局石橋孝久アナウンサー、午後1時30分から

持ってくるもの(カッターナイフ、たこ糸、マジックインク、セロテープ、はさみ)

児童館あんない

日吉児童館 33局5122
1月14日(水) 紙工作、風ぐるまー材料はいりません。

「すばらしい前橋」のために
冷たい朝の風について
お父さんが走る お母さんも走る
子供たちもいっしょだ。

スポーツ一家が増えてきています。
ことしこそ、あなたも家族そろって
スポーツを!

「すばらしい前橋」市民活動協議会

みんなでスポーツを楽しむ部会
部会事務局/市役所体育課内/24-1111 内線294

養護・技能労働

市では、昭和56年4月1日付で採用予定の養護・技能労働職員採用試験を次のとおり行います。

職員募集

職種・採用予定人員 Ⅱ 養護技術師補一人 Ⅲ 電話交換手若干人 Ⅳ 公園助手若干人 Ⅴ 清掃員約五人 Ⅵ 用務員約十五人 Ⅶ 給食員若干人

前橋観光百景

写真コンテスト

市観光協会では、「前橋観光百景写真コンテスト」の作品を募集しています。題材は、四季の自然名所、旧跡、三大まつりなどです。

保健だより



ペアで楽しく健康体操

なるべく一歳までに

BCG予防接種

対象は生後三か月以上四歳未満の乳幼児で、今まで一度もBCG予防接種を受けていない子供。

- 1月6日(火) Ⅱツベルクリン、BCGは1月8日(木)
1月7日(水) Ⅱツベルクリン、BCGは1月9日(金)
2月2日(月) Ⅱツベルクリン、BCGは2月4日(水)
2月3日(火) Ⅱツベルクリン、BCGは2月5日(木)
2月4日(水) Ⅱツベルクリン、BCGは2月5日(木)
2月5日(木) Ⅱツベルクリン、BCGは2月6日(金)

相談と検診

- 成人健康相談 1月23日(金) Ⅱ清里公民館、午前10時～11時30分、午後1時30分～3時
電話での精神衛生相談
1月9日(金) Ⅱ母子健康センター
1月21日(水) Ⅱ市職員研修会館
午後2時～3時
7か月児検診(満七か月児から八か月児未満)

消防設備士講習会

前橋問屋会館で

消防法の定めるところにより、消防設備士の資格を持っている人は、資格取得後二年以内に一度、また五年ごとに知事の行う講習を受けなければならない。

市民献血

血液検査、血圧測定、妊婦体操、栄養指導も行います。1月22日(木) Ⅱ丸井町公民館、1月26日(月) Ⅱ小原町公民館、午前10時～3時

新春経済講演会

1月29日(木) 「80年代日本経済展望」——混迷する日本経済のゆくえ—— 評論家 草柳大蔵さん

労働者講座

申し込み1月26日(月)までに商政課(24局一内線二四九)または商工会議所(34局五一)へ。

住宅用地の申告

1月31日まで

市内に宅地等を所有し、次の事項に該当する個人または法人は、固定資産税軽減のための住宅用地の申告が必要です。

都市計画 変更と決定

道路の変更 2・1・19 総社荒牧線 すでに、決定されている2・3・14 川原荒牧線を吉岡都市計画道路(大久保・荒牧線)に接続させるため、本市行政区域界(総社町植野)まで延伸し、幅員も十

川端町字西田の一部 日輪寺町字川向の全部 荒牧町字宿後、字伊勢東、字上宿、字中反保、字下宿、字舟戸、字八幡前、字自性寺前、字欠田、字日輪寺前、字舟戸西、字小出後、字宿前の各全部

この申告がないと、住宅用地に対する固定資産税の軽減が適用されない場合があります。申告の対象 個人・法人を問わず、昭和55年1月2日(日)から56年1月1日までの間に住宅を新築・増築・改築した場合、またはすでに課税対象となつて住宅を取り壊し、他の用途(例、住宅を店舗)に変更した場合など。

またまた しんぶん

□カイズカイブキ二本岩神町一丁目一九二五、周千代さんから亀泉霊園へ。

□ケヤキ二本、サングジュ三本、キンモクセイ、モッコク各一本文京町二丁目、ダイハツ車体(株)(小池正弘代表)から、市民文化会館の緑化のために。

□現金三万円市防犯委員会第六分会(水野順二会長)から、バートル中の拾得物期満後交付金を社会福祉のために。

□現金二万円元総社地区婦人会(西川佐知子代表)から、バザー益金の一部を社会福祉のために。

□現金五万円小坂子町六二一八、五十嵐六治郎さんから、社会福祉のために。

□もち米百二十五石大友町二八三三四、吉村正行さんから、福祉施設へ。

□現金十五万円住吉町二丁目一一八、西崎緑初さんから、身体障害者福祉事業に。

萩原明太郎撮影写真集 予約募集

体裁B5判、一六ページ、アート紙使用、箱入り、布装、頒布価格二千三百円

申し込み1月14日までに、往復ハガキを使用して、〒371前橋市大手町二丁目二一九前橋市立図書館あて申し込んでください。

※ハガキの書き方①往信用ハガキの表左下に「萩原明太郎撮影写真集」と朱書きし、裏には住所・氏名・電話番号②返信用ハガキの表に、申込者あて先、お名前を必ず明記する。(頒布冊数は一人一冊限り)頒布方法③後日、返信用ハガキで、日時・場所をお知らせします。

水洗便所普及奨励 規程の一部改正

水洗便所ができる区域で、既存のし尿浄化槽を廃止して、し尿を直接下水道管へ流す場合、奨励工事費の分納月数は五か月以内ですが、工事費用が高額であるときは、十五か月以内までに、延ばすことができますよう改正されました。

消防出初式

日時 56年1月6日(火)午前10時正午

場所 県庁前通り(市役所前)秋葉写真館前

内容 消防隊分列行進、高層建築物救助消火訓練、市民による初期消火訓練、県高工業連合会によるはしご乗り

なお、この区間は午前9時から午後1時まで全面通行止めとなりますので、ご協力ください。

成人祝

日時 56年1月15日(木・成人の日)午前10時正午、受付開始9時

会場 県民会館大ホール

対象 昭和35年4月2日から36年4月1日までに生まれた本市在住者

内容 ①式典(講演、漫画家・作家・詩人、やなせたかしさん、やなせさんは、月刊紙「詩とメルヘン」)「いちご絵本」の編集者でもあります。

○：詳しいことは社会教育課(32局六五三八)へ。

1月の競輪

1月2日(金) 3日(土) 4日(日)と24日(土) 25日(日) 26日(月)に開催します。

中央児童遊園あんない

1月の休園日は2日(金) 9日(土)

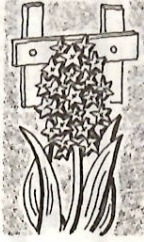
市民の茶席

1月15日(木)午前10時から中央公民館で開きます。茶席当番は、前橋茶道会の長尾宗由さんです。

少年野球連盟に加入しませんか

市少年野球連盟では、小学生少年野球チームを対象に、昭和56年度の加入を募集中です。1月15日(木)までに、市少年野球連盟事務局(43局四六八二)へ。

三三情報



館山海員学校生徒募集

国立館山海員学校では、昭和56年度の生徒を募集しています。要綱は①中学校卒業以上の15歳から19歳未満の人②定員は六十人③試験日は56年2月15日④試験科目は国語、数学、英語⑤本県の試験地は高崎市(〒294)葉巻館山市大賀詳しくは、〒294葉巻館山市大賀

相談

1月上旬は、晴れる日が多いでしょう。初めは寒い日がありますが、後半は暖かい日が多い見込みです。(前橋地方気象台)

□心配ごと相談 1月9日(金) 市母子福祉センター

1月12日(月) 前橋西武店五階

一月の納税

個人市県民税 普通徴収第四期分の納入は1月31日まで

・特別徴収十二月分の納入は1月10日まで

法人市県民税

・十一月決算法人の確定申告納付は1月31日まで

・五月決算法人の中間申告納付は1月31日まで

防災キャンペーン 今月の放送番組

日時	放送番組	放送時間	放送内容
1月29日(日) 15時30分	防災三百科	9時55分～10時	消防の歴史
1月30日(月) 11時30分	ガス燃焼の予防	9時55分～10時	消防の威力
1月31日(火) 11時30分	火災避難の心得	9時55分～10時	煙からの避難法
1月31日(火) 11時30分	高層ビル防災	9時55分～10時	家庭での避難法
1月31日(火) 11時30分	救急車と応急処置	9時55分～10時	救急車と応急処置



藤原とみ子さん(59) 55年度 文部省 俳句文学賞を受賞し、数島町243-4

石倉町に生まれ、娘時代は東京で電話の交換手。買易商に嫁ぎ、横浜で終戦を迎え、やがて市橋へ移り、この数島公園の松林の近くで始めたのが俳句。それが案外うまくいって、娘を東京の大学に出すことができました。のんきなたちでしよう、それほど苦労したって感じないです。

ふれあい

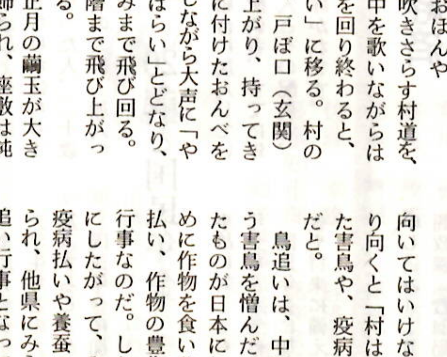
その二階の、鉢植えの草花がいはい咲いている陽当たりのよい部屋で、藤原さんが書いた年賀状の句

早春の息とのえて遠浅間

「県文」の受賞、申しわけないのいなんです。一万人も俳句の人が多いのだそうです。でも、新しさを認める、という評価はうれしかった。大きな励みです。

総社町総社の山王では古くから鳥追い行事をやってきた。子供たちは、小正月十四日の朝飯がすむと、最上級生のうちから選ばれた親頭(おやがしら)と呼ばれるものの家に集まり、カシの木のおんべ(御幣)を御幣に御幣の付けたのを持つ。そして自分で作った鬼やキツネなどの紙の面をかぶると、大太鼓を天びん棒にさし、それを小頭(こがしら)につがせ、親頭が太鼓の打ち手となる。

大太鼓を先頭に、その後に子供全員が続く。そして、太鼓に合わせた鳥追いうたを歌う。



鳥追いうた

白の蘭玉が波打っている。子供たちはその蘭玉に、わざと体当たりする。鳥追いの子供が蘭玉に突き当たると「その年養蚕が当たる」という。

座敷で子供たちは、思うぞんぶんあはれ回る。家々の大人たちはそれを歓迎する。また座敷の蘭玉のそばには、どの家でも新年に求めたタルマを飾っておく。「蘭玉をタルマがならん」といって、その年ネズミが蚕を食いに来ない」という俗信がある。

各家の悪魔ばらいがすむと、村境のどろまで、太鼓に合わせた鳥追いうたを歌って行き、うたの最後に「ランポツクリおつかね」と唱え終わると、太鼓をこまかく打ち鳴らし、鳥追いの宿であつた親頭の家をめざして、子供全員が全速力でかけ帰る。このとき後ろをふり向いてはいけぬのだという。ふり向くと「村はずれまで追い払った害鳥や、疫病がついてくる」のだ。

鳥追いは、中国で、鬼車鳥という害鳥を憎んだことから始められたものが日本に伝えられ、年の始めに作物を食い荒らす害鳥を追い払い、作物の豊作を祈る生活行事なのだ。しかし時代がくだるにしたがって、その附帯目的も、疫病払いや養蚕の予祝なども加えられ、他県にみられない上州の鳥追い行事となっているのである。

むかしがたり

